小学校 丸ごと塾仕様

授業にノウハウ 佐賀・武雄に来春

「官と一企業の一体化」批判も

佐賀県武雄市は、学習塾「花まる学習会」（本部・さいたま市）＝🔑＝と提携し、既存の小学校の毎日の授業に同会の教材や教育方法を導入し、新たな学校として来春開校する、と17日発表した。学校名の頭に「武雄花まる学園」を加える。市は地元学区の子どもに加え、全国から児童を募集する。

🔑 花まる学習会　1993年、高濱正伸代表(55)が東大大学院修了後、埼玉県で始めた。対象は5歳から12歳。思考力や「自立・自活する人」の育成を目指す。小3までは暗唱やゲーム、小4以降は算数の論理力を育てる問題や長文読解に力を入れる。教室は埼玉、東京、神奈川など111カ所で会員は約1万8千人。川遊びやキャンプなどのサマースクール、母親対象の講演会も。高濱代表は算数オリンピックの作問委員を務め、算数や子育ての著書も多い。

武雄花まる学園の時間割り表（高学年）のイメージ

■ 花まる学習会の学習メソッドをそのまま取り入れる
▨ 同会の学習指導法を生かす
□ ビデオ予習型授業を実施

	月	火	水	木	金
朝学習	モジュール				
1	国語	算数	体育	算数	理科
2	算数	国語	算数	外国語	国語
3	体育	理科	社会	体育	音楽
4	社会	理科	国語	社会	算数
昼	昼				
5	なぞぺー	社会	道徳	理科	青空教室
6	家庭科	委員会		家庭科	
学活					
放課後学習	花まる学習会の学習指導方法とマネジメントを生かす				

文部科学省によると、塾の教育内容や手法を公立小のほぼすべての授業に導入するのは初めてという。公立の教員が指導し、公設民営の形はとらない。市は「全国初の官民一体型学校」と言うが、「官と一企業の一体化で塾に依存しすぎ」との批判もある。

樋渡啓祐市長が提案し、市教委が決定した。10年間の協定を結ぶ。同会を選んだ理由として市教委は「受験塾とは一線を画し、生き抜く力を養うことのできる塾として他の塾とも比べて決めた」と説明。花まる学習会も「公教育に貢献したい」とノウハウを無償提供。講師の人件費は市が、教材費は保護者が負担する。花まる学園になる学校は来年度、全11小学校中2、3校を想定している。

教材と教育方法を取り入れるのは、道徳と委員会活動を除く全授業。毎朝10〜15分の学習「モジュール」で四字熟語の音読や算数プリントに取り組む。考える力をつける算数の独自教材「なぞぺー」をビデオにし、タブレット端末で学べるようにする。ノート指導や授業の場面展開の方法も導入する。

市教委は「教える内容はいずれも学習指導要領の枠内で、教科書も使う」と説明する。体育や音楽など実技教科は、英語で教える計画もある。

今年度は市立武内小をモデル校に指定した。校長は4月から、市教育監の代田昭久氏が兼ねている。進学塾による夜間有料授業「夜スペシャル」を続ける東京都杉並区立和田中で民間人校長を務めた。

同会の方式を導入する学校は、市教委ではなく地域ぐるみで決める「手挙げ方式」を採る。対象校の教員には研修を行う計画。教育内容やノウハウは全小中学校で共有するという。目指す学校像を示し、教員が応募する県教委の「フリーエージェント（FA）制」も活用する方針だ。

（安楽秀忠、編集委員・氏岡真弓）

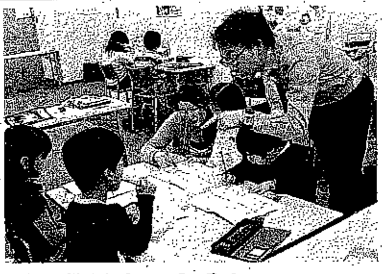
塾との連携 各地で進む

学力向上策として、塾と公教育との連携は進む傾向にある。

大阪府大東市は、2010年度から、毎週土曜日に塾講師に教わる「学力向上ゼミ」を開いている。全国学力調査の成績が全国平均を下回っているためで、小学生に算数、中学生には数学と英語を月1千〜2千円の受講料で教えている。

講師は市が委託した全国学習塾協会が派遣。参加率は市全体の4〜6%にとどまるが、参加者からは「授業が分かるようになった」「学習習慣が身についた」といった感想が寄せられているという。だが、同市教委は「通常の授業は公教育の根幹。塾の活用は現時点では考えられない」としている。

大阪市は今年度から、採用5年目程度の中学校教員を対象に、塾講師から指導方法を学ぶ「スキルアップ講座」を開く。「教員の授業力向上を」という橋下徹市長の要請を受けた。



算数の思考力問題を指導する花まる学習会の講師＝15日、東京都千代田区

90分で8メニュー できた子に花まる

どんな授業している？

花まる学習会は、どんな授業をしているのか。武雄市の教育委員らが15日、東京都千代田区のお茶の水教室を視察した。

「さぁ、始めます。10、9、8……」。講師が指示すると、子どもたちは大急ぎで机の上に教材を並べ出した。

まずは四字熟語。「悪戦苦闘、安心立命、一期一会」。大きな声で読み上げて音も覚える。続いて立体、平面図形のパズル。宮本武蔵の「五輪書」など古典の朗読、計算ドリル、名文の書き写し、算数の思考力問題、文章の精読。

講師は、できた子のノートに大きな花まるを次々書いていく。「できたーっ」「イェーイ」。あちこちから声が上がる。5〜30分のメニューを八つこなし、90分の授業は終わった。

「わーっと声を出す時間とさーっと集中する時間のメリハリをつける。できたらほめることで勉強は楽しいと感じてほしい」と同会の高濱正伸代表は話す。これらのメニューは「武雄花まる学園」の10〜15分の朝学習に取り入れる。

「その次の段階として、先生方と話し合い、教科に手法を生かせたら」と高濱代表。国語はプレゼンに力を入れる。外国語は、日本語で書いた自己紹介を英語で話せるようにする。英語の歌を100曲、英単語を3千を目標に覚えさせる。音楽は楽器をつくり、作曲できるようにする――。

武雄市民はどうみるか。

モデル校になる武内小の1年生の女児の父親は「新しいことにチャレンジするのは良いこと」と肯定的。「今の子どもは、タブレットにも慣れているし、すぐ順応すると思う」と話す。男児を通わせる父親は「先生たちは今でも持ち帰りの仕事があって大変なのに、負担が大きくならないか。その影響が子どもにあったら困る」。

「動かないで」「客室に」何度も放送

沈没

イター

「そのまま動かないで」「客室に」という放送が繰り返し流れたと話す。救命

覚醒剤所持容疑 2人逮捕

別人の身分証88枚所持 住居転々

近畿厚生局

密売目的で覚醒剤を隠し持っていたとして、近畿厚生局麻薬取締部神戸分室は住所不定の無職、田中愛一郎容疑者(49)ら2人を覚醒剤取締法違反（営利目的所持など）の疑いで逮捕した。捜査関係者への取材でわかった。神戸分室は、関係先から別人の身分証88枚を押収。田中容疑者が他人の名前を勝手に使い、各地を転々としていたとみて調べている。

ほかに逮捕されたのは田中容疑者の内縁の妻、板東千亜希容疑者(38)。

捜査関係者によると2人は今年3月、大阪市西区の短期賃貸マンションで、43袋に小分けした覚醒剤約266ｇ（約1800万円相当）を販売目的で隠し持っていた疑いなどがある。

神戸分室はこの部屋などから現金計約1300万円のほか、実在する男女のものとみられる運転免許証や健康保険証、学生証などを押収。板東容疑者は身分証の入手先について、「盗品を売るブローカーがいる」と供述しているという。

田中容疑者は年齢の近い男性の身分証を使い、大阪や東京の短期賃貸マンションを借りていた。板東容疑者は「約1年の間に数十カ所を転々とした」と話しているという。